

七生福祉園だより

令和8年3月吉日 第293号

令和7年度 福祉サービス第三者評価結果報告

今年度も福祉サービス第三者評価を受審しました。評価機関は株式会社日本生活介護です。

児童施設と成人施設の概要は次のとおりです。



	児童施設 (障害児入所施設)	成人施設 (障害者支援施設)
特に良いと思う点	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性と発達段階に寄り添い、自分らしさと安心感を育みながら主体性を伸ばす総合的な生活支援体制を丁寧に整えている 障害のある子どもの一人ひとりの能力を引き出し、生活力や社会性を高める支援に積極的に取り組んでいる 子どもの状況をより理解することを目的として入所支援計画を作成している 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識と経験がある職員が、専門職と連携して安全で質の高い支援を提供している 従来紙媒体の記録から、統一した支援記録システムを導入したことにより、園全体での情報共有と業務効率化が大きく進展している 利用者の状況に応じて関係者会議を開催し、多職種による協議を行い、専門的視点から総合的な支援の方向性を決定している
さらなる改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの声が生活に反映されていることを実感できる仕組みの可視化と継続的フィードバックのさらなる充実が今後より一層期待される 園の現状を熟知する職員が中心となり、法人と連携しながら計画的な施設改修を進めることが期待される 様々な障害の特性を持つ利用者支援において、職員の高いスキルが求められるため、業務の標準化を一層図っていくことに期待したい 	<ul style="list-style-type: none"> 建て替えや設備更新を含む総合的な改修計画の推進が望まれ、快適性と安全性の確保に向けたさらなる取り組みが期待される 支援計画の根幹となるアセスメントやモニタリングの記述方法について、共通理解を深める継続的な取り組みが期待される 企業環境とニーズの変化を踏まえた新規企業開拓の強化と多様な職務創出を通じて持続可能な就労機会の拡大が今後より一層期待される

詳細は、「とうきょう福祉ナビゲーション (<https://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>)」又は管理棟の閲覧用ファイルでご覧いただけます。ファイルを閲覧希望の方は、職員にお申し付けください。園では評価結果を踏まえ、利用者サービスのより一層の向上に努めてまいります。



今年度の利用者の地域生活移行と入退所の状況

【児童部門】

今年度は、4歳から15歳までの児童7名が新しく入所され、退所された児童は12名でした。

移行先の内訳はグループホーム10名、家庭復帰1名、里親委託1名でした。

【成人部門】

今年度は2名が入所し、5名が退所されました。

退所の内訳は、高齢者施設2名、病院が2名、逝去された方が1名でした。

児童	入所	退所	退所の内訳		
			グループホーム	家庭	里親委託
	7	12	10	1	1
成人	入所	退所	退所の内訳		
			高齢者施設	病院	死亡
	2	5	2	2	1

(令和8年3月末時点)

七生福祉園 イメージキャラクター決定!

七生福祉園全体で応募から選挙まで行い、七生福祉園のイメージキャラクターができました。

これから色々なところに出没するかも!?

キャラクターコンセプト

一見可愛らしい猫に見えるが、実は七尾(七生)を持つ狐の精霊
 七生福祉園の児童、利用者、職員すべての安全・安心を日夜
 願っている
 七尾は七生福祉園の利用者それぞれの個性を表している
 好きなこと: 児童・利用者・職員笑顔を見ること!
 好きな食べ物: しいたけ・きくらげ・季節のお野菜



ななおふくしえん

七生福祉園 イメージキャラクター

ななこん

「NANACON」

当園の園だよりは知的障害のある方への合理的配慮からルビをつけて提供しております。
ルビ無しをご希望の方は当園職員までお申し出ください。